

## 【理念】

## 「愛し愛される病院」

## 【基本指針】

- 1、私たちは、患者様、ご家族に「おもいやり」をもって接します。
- 1、私たちは、地域に信頼され貢献できる医療を提供いたします。
- 1、私たちは、患者様の在宅復帰を支援いたします。
- 1、私たちは、診療記録を正確に記載いたします。
- 1、私たちは、自己研鑽しよりよい病院を目指します。

## 【患者様の権利】

- 1、患者様は医療に関する説明を十分受けた上で、治療を受ける権利又は拒否する権利が有ります
- 2、患者様は医師、医療従事者が患者様の知り得た個人情報を守られる権利が有ります
- 3、患者様は病院、医師を自由に選ぶ権利が有ります
- 4、患者様は安全で適切な医療を平等に受ける権利が有ります
- 5、患者様は診療録の開示を求める権利が有ります



## ご挨拶



この度、3月21日付けで杉並リハビリテーション病院の事務長として赴任してまいりました友光と申します。宜しくお願ひ致します。私はこれまで急性期病院、慢性期病院、透析専門病院と31年間、AMG グループで勤務してまいりましたが、回復期病院はこれが初めてとなります。これからいろいろ勉強させて頂き、これまでの経験を活かしながら、杉並リハビリテーション病院が更に患者さまにとってより良い病院になるよう一生懸命、頑張らせていただきます。これからは理念であります「愛し愛される病院」をもとに患者さまのニーズに沿った、安心・安全なチーム医療が提供できるよう職員一同、努めてまいりますので今後ともよろしくお願い致します。

事務長 ともみつ まさあき  
友光 正明

このたび、千葉県習志野市にあります津田沼中央総合病院から3月21日付けで転勤してまいりました看護部長の上田と申します。22年間、急性期と回復期リハビリ病床を持つ病院で働いてまいりました。看護師として急性期で治療をし、元気に退院していく患者さまを見るのが私にとっての喜びでした。これからは、杉並リハビリテーション病院の看護部長として、患者さまが安心、安楽に療養生活が送れるよう努めてまいります。また、多職種と連携し、患者さまが不安なく住み慣れた生活場に戻ることが出来るように、努力してまいりたいと思っております。どうぞ、宜しくお願いいたします。

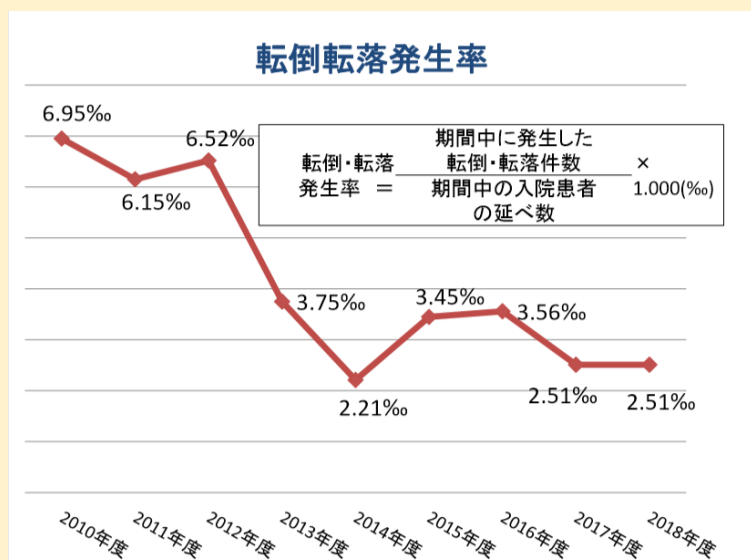
看護部長 うえだ ちはる  
上田 千春

## 患者さまの安全と質の高いリハビリの提供を目指して

当院では、日常生活動作の能力改善、介助量軽減を目指して日々、リハビリを実施しています。

リハビリが進むと、少しずつ歩行・着替え、トイレ動作が少しの介助で出来るようになります。出来るようになってきた方法を用いて、まずは入院中の日常生活で実施することで、リハビリ以外の時間が実生活に則した練習の場となります。この時注意しなければならないのが転倒などの事故です。リハビリの時にはうまく出来ていたことが出来なかったり、入院前は簡単に、特に意識せずやっていたことをふとやってしまい、事故に繋がってしまったりします。当院では転倒が起きると、その理由や原因を分析する取り組みを実施して、なぜその行動をしようとしたのかを調査し、転倒現場を写真に記録、要因を分析し、再発防止策を立てています。この際、多職種で検討することで、看護師とリハビリスタッフが違った視点から要因を考えることができ、より適切な防止策を考えることができます。この取り組みを開始してから、低い転倒発生率を維持しています(※1)。

完全に事故を無くすことは難しいと思われませんが、骨折等の大きな事故や更に治療が必要な状態にならないこと、更に、起きてしまった転倒から学び、同様の転倒を防ぐことを目指し、取り組んでいます。



※1 当院の転倒転落発生率



**実績指数**

各患者の	FIM得点の {運動項目} の退棟時と入棟時の差	の総和
各患者の	入棟から退棟までの在棟日数 状態毎の回復期リハビリテーション病棟入院料の算定上限日数	の総和

※2 実績指数の算出方法

2016年から、より質の高いリハビリを提供している回復期リハビリテーション病棟を評価する方法として「実績指数」※2 というものが用いられるようになりました。実績指数とは、「入院から退院に至るまでの間にどれだけ日常生活動作が改善したか」という点と、「在院日数が何日なのか」という点に着目し、これらを規定の式に入れることで算出され、値が高い方が効率的により回復していることとなります。回復期リハビリテーション病院は、当初、3段階(I~Ⅲ)の施設基準で開始され、2018年からは6段階(1~6)となりました。当院は実績指数が『37』以上の一番高い区分けである『1』を取得しています。2020年4月からは診療報酬改定に伴い、『1』は実績指数『40』以上に引き上げられました。

これは患者さまにとっては、より効率的に、より改善した状態で早期に退院できるという目安となり、医療従事者にとっては、より早期に回復した状態とすることが求められることとなります。

患者さま個人個人の回復状況に合わせ、適切な介助方法が行え、安全に生活できる環境を整えることは、安全に早期の回復を得るためには大切です。実績指数を高い水準で保ちつつ、患者さまの安全を守るために、これからも多職種が各々の得意分野を共有し、安全な入院生活を送っていただけるように取り組んでいきたいと思っております。

## 当院の防災活動・自衛消防活動について

昨今、台風などを含む自然災害の脅威が大きな関心事となっておりますが、今回は、当院の防災活動・自衛消防活動についてご紹介させていただきます。

ここ数年、防火管理者として意識してきたことは「職員ひとりひとりが当事者意識を持つ」ということです。地道な活動を通して、ふたつほど職員の意識の変化について実感しております。

ひとつは、事務部門の女性職員において、自分たちが得た消防設備の知識や消火のスキル等を発揮したいと、地域を管轄する荻窪消防署が毎年開催している「自衛消防審査会」(※)に自発的に参加をはじめたことです。自発的に参加するのですから、当然結果もとれない、2015～2018年まで4年連続で優勝を飾りました。その活動が評価され、2017年度には自衛消防隊が、2019年度には防火管理者が荻窪消防署長より表彰を受けております。もうひとつは、病院で実施されるいわゆる防災訓練である「自衛消防訓練」の雰囲気です。前述の自衛消防隊が緊張感あふれるデモンストレーションなどを実施していたため、徐々に訓練に参加している職員にも熱が伝わったようで、避難訓練の際に模擬患者役の職員が「杖をつかないと歩行できない役」や「階段昇降ができないので簡易担架で運ばれる役」などと、より実践に近い訓練の実施に積極的に協力してくれるようになりました。

勿論、まだまだ発展途上の当院の防災活動・自衛消防活動ではありますが、常により実践に近い訓練を意識し、患者さまが安心して入院できる環境の提供に努めてまいります。

※「自衛消防審査会」とは…地域の会社等の自衛消防隊が一堂に会し、災害発生から初期消火、通報、避難・誘導を実演する審査会のこと

防火管理者・<sup>おおやまのりお</sup>大山徳郎(総務課)



△2019.10.31 自衛消防訓練の様子



△荻窪消防署からの歴代の表彰状

## 患者さまの声

(接遇委員会より)



- ・ 病院で働いている皆様のお陰で無事退院出来、本当に有難うございました。  
リハビリの方や看護師の皆様にはいつも明るくお声をかけて下さり私も明るい気持ちになり私にとって回復の為には思った以上に早く良くなったと思います。皆様の優しい気持ちが身に沁みてうれしかったです。本当に有難うございました。
- ・ 食事の際にお願い事をしたら、無言で対応されたようです。お忙しいとは思いますが、ひとことあれば気持ちも落ち込まないと思います。  
→ 忙しい時こそ声掛けが必要かと思えます。今後、患者さまへの対応を徹底して参ります。

(原文のまま掲載しております)

貴重なご意見ありがとうございました！

## ◆ 2020年1月～4月 入院患者数と紹介元医療機関

1月から4月の4か月間における新入院患者は **135名**、  
紹介元医療機関は以下の通りです。(順不同、敬称略)

井之頭病院、イムス東京葛飾総合病院、荻窪病院、河北総合病院、関東中央病院、杏林大学医学部付属病院、  
久我山病院、慶應義塾大学病院、公立昭和病院、公立西知多総合病院、国立国際医療研究センター病院、  
国立病院機構埼玉病院、佐々総合病院、順天堂大学医学部附属練馬病院、関町病院、滝山病院、田中脳神経外科病院、  
土浦協同病院、帝京大学医学部附属病院、東京医科大学病院、東京医療センター、東京警察病院、  
東京女子医科大学東医療センター、東京女子医科大学病院、富永病院、都立大久保病院、都立多摩総合医療センター、  
都立広尾病院、日本大学病院、練馬光が丘病院、浜田山病院、東大和病院、保谷厚生病院、三鷹中央病院、水戸協同病院、  
武蔵野赤十字病院、野猿峠脳神経外科病院、山中病院、立正佼成会附属佼成病院 (他3か所)

以上、42か所ご紹介ありがとうございました。

## ～当院の現況～

	2020年2月	2020年3月	2020年4月
病床利用率	98.1%	96.3%	93.5%
入院延べ患者数	2,912人	3,059人	2,876人

在宅復帰率(直近3ヶ月)…92.0%

重症患者割合(直近6ヶ月)…38.3% ※日常生活機能評価で10点以上の新規患者割合

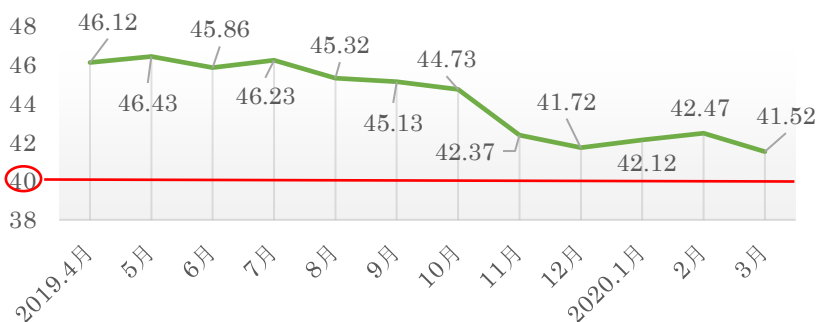
重症患者回復病棟改善割合(直近6ヶ月)…53.8% ※重症患者のうち4点以上改善している者の割合

## ～リハビリ評価～

### 実績指数

各患者の	FIM得点の〔運動項目〕 の退棟時と入棟時の差	の総和
各患者の	入棟から退棟までの 在棟日数 状態毎の回復期リハビリ テーション病棟入院料の 算定上限日数	の総和

### 実績指数



### 病院 HP

現場スタッフの声を  
動画で公開しております



### Facebook

院内の雰囲気、  
ご覧いただけます



採用関係のお知らせが  
充実しております



## 編集 後記

コロナの影響が長期化しております。感染症に  
ついての安全対策もしかり、患者さま・ご家族に  
とって、院内での安全を維持していくことが安心に繋がると  
考え、今号では安全をテーマにしております。参考にして頂  
けたら幸いです。  
(編集委員)

## 交通のご案内



- 発行 行：杉並リハビリテーション病院
- 発行責任者：門脇親房
- 編集 集：総務課